

にいみなんきち

新美南吉 『がちょうのたんじょうび』より

『がちょうのたんじょうび(二)』をよみながら、  
は・わ・が・を・お・へ・えのあうじを( )( )のなかにかきましよう。

そこで、うさぎがいたちのところ( )( )つかいにやっていきました。

「きよう( ) ( )がちょうさんのたんじょうびですからおでかけください」

「あ、そうですね」

「ところで、いたちさん、ひとつおねがいがあるのですが」「なんですか」

「あの、すみませんが、きようだけは( )( )なら( ) ( )しないでください」

「いたちははずかしくて、かお( ) ( )まっかにしました。そして、

「ええ、けっしてしません」

とこた( ) ( )ました。

そこでいたちはやっていきました。

いろいろなごちそう( ) ( )でました。おからや、にんじんのしっぱや、うりのかわや、おぞうすいや。

こたえ

そこで、うさぎがいたちのところへつかいにやっていきま  
した。

「きょう（は）がちょうさんのたんじょうびですから おでかけ  
ください」

「あ、そうですか」

「ところで、いたちさん、ひとつ おねがいがあるのですが」

「为什么呢」

「あの、すみませんが、きょうだけは（お）なら（を）しないで  
ください」

「私たちははずかしくて、かお（を）まっかにしました。そして、

「ええ、けっしてしません」

とこた（え）ました。

そこで、いたちはやっていきました。

いろいろなごちそう（が）でました。おからや、にんじんのしつ  
ぽや、うりのかわや、おぞうすいや。